

コード No. 18973

Anti-Rab27B Rabbit IgG Affinity Purify

容量 : 100 μ g

はじめに : 低分子量 G タンパク質 Rab は酵母からほ乳類まで全ての真核生物に保存された、普遍的な膜 (小胞) 輸送の制御因子です。ヒトにおいては 60 種類以上のアイソフォームがこれまでに報告され、様々なオルガネラの輸送に関与すると考えられています。Rab27 は Rab3 に近縁の Rab サブファミリーで、ヒトやマウスにおいては Rab27A と Rab27B という 2 種類のアイソフォームが存在します。Rab27A の変異は色素異常や免疫疾患などの症状を呈するヒトの遺伝病 Griscelli 症候群を引き起こします。活性化型の GTP-Rab27A は特異的なエフェクター分子 (Synaptotagmin-like protein (Slp) 及び Slac2 など) と結合することにより、色素細胞におけるメラノソームの輸送及びホルモン (インスリン) などの様々な分泌顆粒の放出に関与します。Rab27B も Rab27A と同様に様々な分泌顆粒上に存在し、例えば耳下腺からのアミラーゼの分泌に関与することが明らかになっています。

免疫抗原 : リコンビナント Rab27B 蛋白質

免疫動物 : ウサギ

精製方法 : 抗原カラムによる特異精製

包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 蒸留水 1.0 mL 添加

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : ウェスタン・ブロッティング 1~5 μ g/mL にて使用可能

使用方法

特異性 : マウス 及びラットと交差
Rab3 サブファミリーとは交差しません

参考文献 : 1. Ménasché, G., Pastural, E., Feldmann, J., Certain, S., Ersoy, F., Dupuis, S., Wulffraat, N., Bianchi, D., Fischer, A., Le Deist, F., de Saint Basile, G. Mutations in RAB27A cause Griscelli syndrome associated with haemophagocytic syndrome. Nat. Genet. 25:173-176 (2000)
2. Imai, A., Yoshie, S., Nashida, T., Shimomura, H., Fukuda, M. The small GTPase Rab27B regulates amylase release from rat parotid acinar cells. J. Cell Sci. 117:1945-1953 (2004)
3. Fukuda, M. Versatile role of Rab27 in membrane trafficking: Focus on the Rab27 effector families. J. Biochem. 137:9-16 (2005)